



市民の声を市政に反映

# 杉森ひろゆき

市議会議員ニュース

杉森弘之後援会広報委員会発行  
**819号** 2020年8月18日  
 〒300-1235 牛久市刈谷町1-41-8  
 Tel・Fax : 870-0335  
 携帯 : 090-5587-7693  
 Mail : sugimori@max.hi-ho.ne.jp

# 公共施設のコロナ対策

## 6月定例会一般質問 ⑤-A

杉森議員は6月8日、牛久市議会6月定例会で、新型コロナウイルス感染症対策について質問。今号は⑤「市民の精神的・身体的健康不安」のAを掲載します。

### 市民の活動場所喪失

【杉森議員の質問予定原稿】市民の精神的・身体的健康の面から質問します。長期の自粛によって、高齢者や障害者をはじめ、市民の精神的・身体的健康が害されているのではないかと、心配しています。「コロナうつ」などという精神症状もありますが、市民の精神的・身体的健康を支えている様々な文化的・運動的の同好会等の活動状況を聞きます。

【執行部の回答予定原稿】市内の生涯学習施設及び牛久運動公園等スポーツ施設については、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され始めた3月以降、国の感染症対策の基本的対処方針や県の指針に基づき、感染拡大防止の観点から施設の利用を段階的に制限し、緊急事態宣言以降は全館の貸出を停止していました。

文化的・運動的等さまざまな活動をされている市民や団体の方々は、活動場所を失ってしまったことで本格的な活動は行われていないものと認識しています。

牛久運動公園では、昼間は門扉を開放していましたので、園内の散歩や多目的広場での軽い運動など、それぞれ個人的に工夫しながら健康維持に努めている姿が見られました。

また、各種団体については、総会を含めた事業の自粛を要請していたことから、総会については書面議決によって、令和元年度の決算や事

(2頁に続く)



ナイタイ高原牧場の  
ナイタイテラス

## 市民クラブの上士幌町視察

### 人口・所得増加の町

#### ICT・ふるさと納税を活用

会派市民クラブは7月31日、「消滅集落」の烙印が押された町を人口・所得増加に転じさせた北海道上士幌町を視察した。

立役者の竹中貢町長は1948年生まれ、北海道教育大卒、上士幌町社会教育科長を経て、2001年町長選に初当選、現在5期目。

上士幌町は面積約700km<sup>2</sup>で人口約5千人。76%を森林が占める。かつては林業の町として栄え、最盛期の1955年には1万3,608人を数えた。現在、畜産の振興で牛は人口

の10倍、約5万頭あり、牛乳は「よつ葉」、肉牛は「十勝ナイタイ和牛」で販売している。

竹中町長は「ICTによる地方創生」を唱っており、例えば農業のロボット化、畜産の搾乳・発情管理等を進め、農業・畜産の大型化・法人化・所得増が進んでいる。自動運転無人バス、山岳救助とドローン活用も先駆的な位置にある。家畜の糞尿を使ったバイオマス発電は近く町の消費電力をすべて賄うという。

地域おこし協力隊導入による役場ホームページのリニューアル化、特産品生産への補助金等は、ふるさと納税への大きな武器となり、子育て福祉の充実、社会的人口増につながった。

市民の精神的・身体的健康不安 A

